議会だより

産山

第１７号　令和４年５月発行

産山で見られる山野の花　Ⅴ

◆　第5回（3月）定例会・・・・・P2～6
◆　第3・4・6回臨時会・・・・P7
◆　一般質問・・・・・・・・・・P8～11
◆　編集後記ほか・・・・・・・・P12

キスミレ（黄菫）　　「スミレ科　スミレ属」

分布：大陸系のスミレで、ロシアのウスリー、中国(山東省、東北部)、朝鮮半島、日本（本州（東海以西）、四国、九州に点在して稀に分布)。

日当たりのよい山地草原に生育する多年草。茎は細く、草丈は10～15cm、茎や葉に細やかな毛があるが、葉を除きほとんど無毛。春先に他の植物に先立って開花・展葉し、夏期には地上から姿を消し、地下で休眠に入る。

熊本県では、準絶滅危惧(NT)に指定されている。

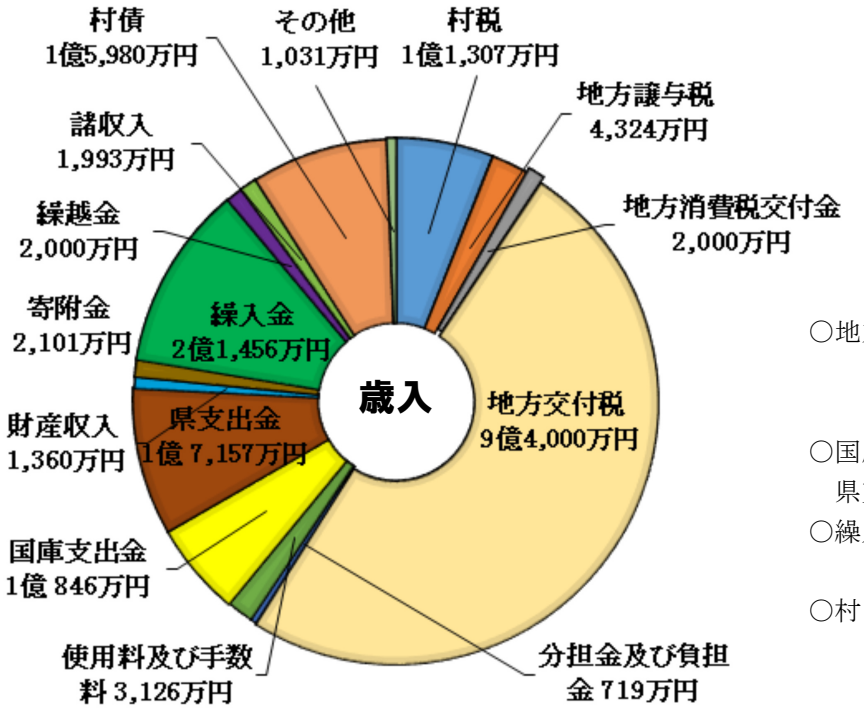
令和4年3月定例会

令和4年第5回定例会が3月8日から17日まで開催され、村からの上程議案23議案が審議されました。
一部事件訂正がありましたが、全会一致で可決されました。

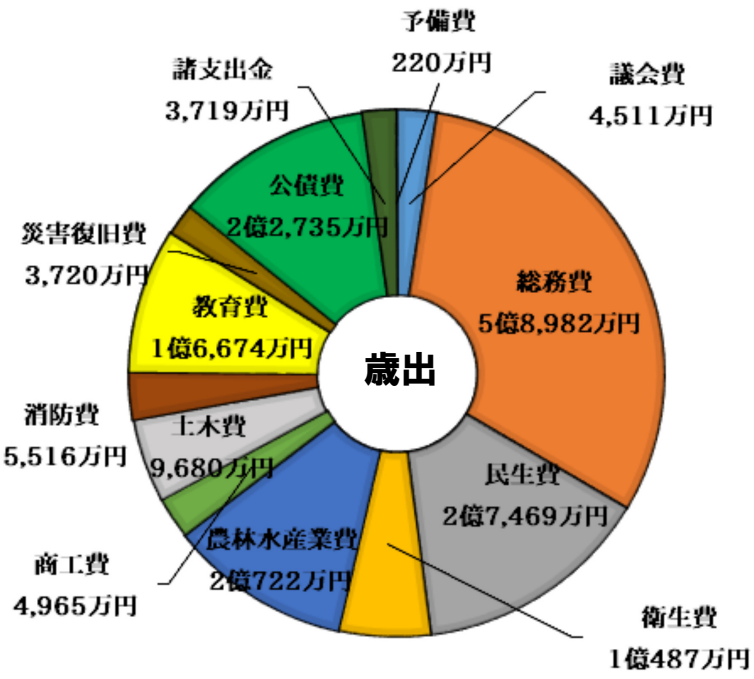
令和4年度一般会計予算

18億9,400万円

前年度予算　21億9,301万円　13.6%減



○地方交付税　地方自治体の財政格差をなくすため、国から村に交付されるお金
○国庫支出金　県支出金　事業を行うため、国や県から交付される補助金
○繰入金　貯蓄している基金等から一般会計に繰り入れるお金
○村　債　村が国や銀行等から借り入れる借金



○総務費　村の義務的経費等（人件費等）
○民生費　社会福祉等に充てられる経費
○土木費　道路改良、維持工事、住宅に充てられる経費
○公債費　村の借入金の返済に充てられる経費
○災害復旧費　災害復旧に充てられる経費
○教育費　教育に充てられる経費
○農林水産業費　農林水産業に充てられる経費
○衛生費　村民の病気や予防、新型コロナウイルス感染症対策等に充てられる経費
○消防費　消防活動の経費
○商工費　商工活動に充てられる経費

令和４年度各会計予算

会計名	令和4年度	令和3年度	増減額	増減率
一般会計	18億9,400万円	21億9,301万円	2億9,901万円　減	13.6%　減
国民健康保険特別会計	2億2,155万円	2億2,908万円	753万円　減	3.3%　減
後期高齢者医療特別会計	3,093万円	2,685万円	408万円　増	15.2%　増
簡易水道事業特別会計	3,819万円	3,074万円	745万円　増	24.2%　増
診療所特別会計	6,120万円	6,225万円	105万円　減	1.7%　減
介護保険特別会計	2億6,890万円	2億6,870万円	20万円　増	0.1%　増
風力発電事業特別会計	4,589万円	755万円	3,834万円　増	607.8%　増
うぶマート事業特別会計	2,005万円	―	2,005万円　増	―

＊風力発電事業については、平成13年から発電事業を行ってきたが令和3年4月で20年を経過し、新たな更新等についても検討を行ったが事業存続が困難なため、令和4年度に風力発電所を解体するものです。

令和3年度各会計補正予算

項　　目	増　　減	総　　額	主な内訳
一般会計	6,391万円　減	24億7,972万円	主な補正は、各種事業確定による増減
国民健康保険特別会計	152万円　減	2億4,686円	各種事業確定に伴う減額
後期高齢者医療特別会計	104万円　減	2,592万円	国県事業確定に伴う減額
診療所特別会計	370万円　減	5,932万円	事業費確定に伴う減額
介護保険特別会計	81万円　増	2億8,136万円	国庫支出確定に伴う増減

その他の議案

○熊本県市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更及び規約の一部変更について
○産山村地域福祉基金条例の廃止について
○産山村定住促進空き家活用住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について
○産山村職員等の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について
○産山村手数料条例の一部を改正する条例について
○産山村消防団の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例について
○うぶマート事業特別会計設置条例の制定について
○うぶマートの設置及び管理に関する条例の制定について
○産山村固定資産評価審査委員会委員の選任同意を求める件について

＊産山村固定資産評価審査委員会委員の選任について志賀博成氏が選任され、全会一致で同意されました。
委員は、３名で、他の２名は古林良則氏、井富幸氏となってます。
今後のご活躍をご祈念申し上げます。

3月定例会（令和4年度主要事業）

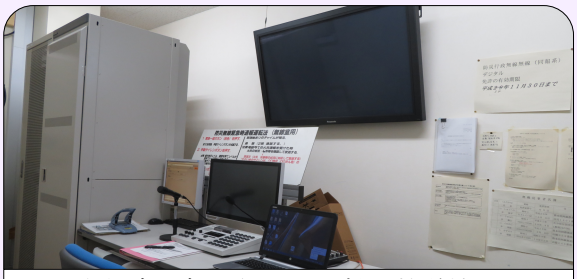
小さな拠点整備事業

1,985万円

４月から村が運営するうぶマートは、新店舗が完了後、解体されます。（過疎債）

光ネットワーク機器負担金

1,676万円



本年度更新が行われる村の放送機器

現在使用しているお知らせ端末が10年を経過し、令和4年～令和7年にかけて更新を行うものです。なお、令和4年度は、告知サーバー及び放送機器の更新を行います。（過疎債及び一般財源）

堆肥製造施設機械購入及び水道整備

4,250万円

産山村堆肥製造施設の機械の老朽化（17年が経過）により、機械の更新するものです。（過疎債）

有害鳥獣捕獲報償費

1,039万円

有害鳥獣の捕獲費用として、猪570頭、鹿180頭、サギ20羽、カラス20羽分が計上されています。（一般財源）

村道改良工事

4,000万円

改良工事により道路拡幅が行われている村道
片俣・菅生線

村道の村単独道路改良工事で本年度は、片俣菅生線、大利菅生線、乙宮笹鶴線の継続事業です。（過疎債）
＊補助事業については、事業確定後補正予定

風力発電設備解体

4,500万円

平成12年に設置した風力発電施設も耐用年数を迎え、本年度撤去するものです。（風力発電事業特別会計）

３月定例会質疑応答

補正予算から

【問】 社会資本整備交付金の繰越について、内訳は。

【答】 橋梁補修設計３橋（産山橋、中渡瀬橋、下家壁橋）、工事７路線（飛瀬橋橋梁工事、中野橋補修工事、竹の畑・蓬原線道路改良工事、上田尻・瀬の本線法面防災工事、御湯船・小迫線法面防災工事、竹の畑・板木線舗装工事、御湯船・小迫舗装工事）

【問】 有害鳥獣駆除報酬費が減額されたが、現在の狩猟捕獲頭数は。

【答】 ２月末で、猪３９０頭（前年比92％）、鹿１５２頭（前年比１０５．６％）

【問】 御湯船温泉について、水量や温度の低下に伴うトラブルがあったと聞いたが。

【答】 水量及び温度の低下があったが、地震があり、温度は上がった。
３月の定休日に温泉ポンプの定期入替を予定している。

【問】 景観保全事業（輪地切等の補助）の申請状況は。

【答】 11牧野が申請し、総延長で、約14・8㎞ほどの申請があった。

当初予算から

【問】 企業版ふるさと寄附金とは、どのような制度か。

【答】 村が行うプロジェクト事業に対して、賛同をいただき、企業から寄付をいただくもので、返礼品はなく、企業は所得税控除のメリットがある。

【問】 お試し滞在住宅の現在の利用状況について。

【答】 平成29年からの事業であるが、現在に至るまで16組の利用があり、令和２年度については、８組、令和３年度が４組で、コロナウイルスの影響により、令和３年度は減少傾向にある。

平成29年に設置したお試し住宅

【問】 地域おこし協力隊活動支援補助金について、現在までの活動内容は。

【答】 地域おこし協力隊が村で起業するための準備に要する経費の補助で、現在までにヨガの資格習得、草刈り機やチェンソーの講習会等。

【問】 現在９名の地域おこし協力隊の活動状況について、発表の場を設けることが必要では。

【答】 多くの村民に知っていただけるように発表の機会を設けたい。

御湯船温泉館にて、村民を対象としたヨガ教室

３月定例会質疑応答

当初予算から

【問】 ＡＥＤ（自動体外式除細動器）の耐用年数は。
　また、ＡＥＤについては、使用方法が広く知られていないので、廃棄処分されるものを練習用として残しては、いかがか。

【答】 耐用年数は、７年であり、処分については、業者が無料で引き取ってくれる。
　ＡＥＤについては、１回使えば、部品を替えなければならない。
　講習会については、消防団や消防署と連携して、実施できるよう検討したい。

【問】 堆肥製造機械購入費について、４，０００万円が計上されているが、堆肥施設に対して、規模と金額は、適切であるか。

【答】 村の負担を軽減しながら進めたい。
　機械の規模等も施設規模に応じて選定する。
　村内畜産農家の利便性の向上や良質な堆肥の製造に務めていきたい。
　なお、予算の執行については、慎重に協議を重ね最終的に合意を得てから執行する。

17年が経過したホイルローダー

産山村堆肥製造施設

【問】 森林環境譲与税について、森林整備だけでなく、普及啓発の検討は、できないものか。

【答】 全国で様々な取組があるので、村に適した事業を模索しながら、新たな取組を検討したい。

令和3年度に森林環境譲与税を活用して実施された山鹿地区内の竹林伐採

【問】 着地型旅行商品造成業務委託事業について。

【答】 現在、大きな団体での旅行ができないため、マイクロツーリズム（近隣からの日帰り観光）で、旅行商品を考えている。
　本年度は、動画関係を作成し、観光協会のホームページで視聴できるようにしたり、ヒゴタイ公園に設置したトレイルランの紹介などを行う。

令和4年第3回臨時会

令和4年第3回臨時会が2月7日に開催され、条例議案2議案を審議し、全会一致で可決されました。

○うぶやま山菜工房の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について
○地域資源活用加工施設の設置及び管理に関する条例の制定について

要旨　うぶやま牧場内にある山菜工房施設（影の木）を条例から削除し、地域資源活用加工施設として、条例を制定するものです。

令和4年第4回臨時会

令和4年第4回臨時会が2月28日に開催され、契約同意議案1議案、その他議案1議案の2議案が審議され、全会一致で可決されました。

○指定管理者の指定について

要旨　うぶやま牧場の指定管理者として、新たに株式会社九州産直市場を指定管理者とするもので、今後うぶやま牧場の管理運営を行います。

○工事請負契約の締結について

要旨　産山村小さな拠点「産山ふれあいセンター（仮称）」整備工事について、5,000万円を超える工事については、議会の議決が必要なため、議決を求めるものです。
なお、工事請負金額は、9,680万円です。

令和4年第6回臨時会

令和4年第6回臨時会が3月30日に開催され、資産売買契約の締結1議案、令和3年度産山村一一般会計歳入歳出予算（第12号）を審議しました。資産売買契約の締結については、株式会社うぶやまの資産買取の内容を見直す必要があるため事件撤回され、予算議案については、事件訂正後可決されました。

令和３年度一般会計補正予算（第12号）

2億4,405万円を追加し、総額27億2,378万円

主な補正予算

歳入予算
○地方消費税交付金の増額　1,304万円
○地方交付税の増額　2億496万円
○新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金　1,137万円
○臨時財政対策債の増額　1,594万円

歳出予算
○公共土木災害復旧費　△1,258万円
○財政調整基金　1億3,178万円
○臨時財政対策債（令和3年度借入分）　3,993万円
○予備費　1億円

一般質問

井　春夫
議員

■副村長の起用

【議員】村長に代わって業務の詳細な検討や施策の企画立案を行い、村長の判断が不要な事案もしくは村長の委任を受けた事案の決定や処理を行う副村長の起用について、その後どのように検討しているか。

【村長】前向きに、そして議員の理解をいただきながら起用する方向で調整中。

■成人式の実施時期

【議員】4月1日から成人年齢が20歳から18歳に引き下げられるが、成人式の対象年齢や実施時期についてどのように考えているのか。

【教育長】式典自体は従来どおり20歳を対象としたものとして、全国、他市町村の動向を踏まえた上で対応していきたいと考えている。なお、成人年齢に達した18歳の者に対して、式典という形で祝うのではなく、成人の自覚を促すような啓発資料を含めた記念品を送付し、成人を祝うこともあるのではないかと考えている。

【議員】村としての方針を早急に決定し、村民や対象者、保護者に周知徹底していただきたい。（広報うぶやま4月号にて対応を記載）

令和3年度成人式の風景

■森林管理制度

【議員】平成31年度に森林経営管理法が施行され、制度がスタートしたが、村では森林所有者を対象に経営管理意向調査を開始しているが、進捗状況と今後のスケジュールは。

【経済建設課長】平成31年度より経営管理意向調査を実施して、現在約6割の回収率となっており、残りの分について鋭意回収を進めている。

【議員】森林経営管理制度の導入は、放置された森林をよみがえらせる、また地域の活性化、安心・安全を実現する絶好の機会であるので、適切な森の管理、森林経営を推進するよう検討を願う。

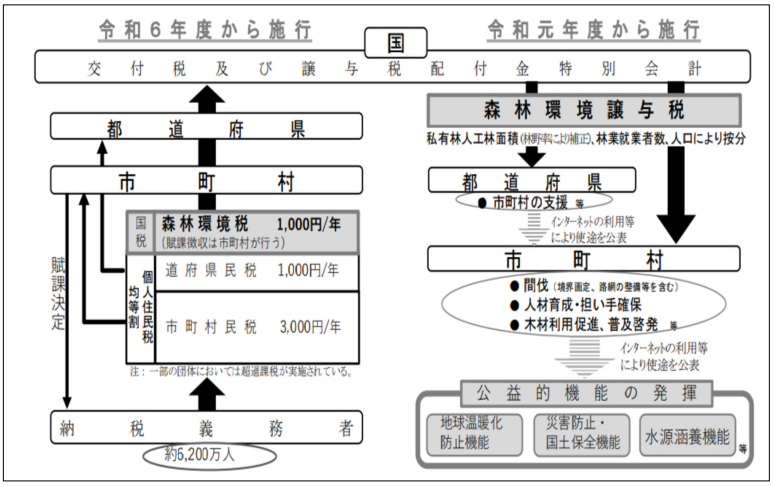
■森林環境譲与税

【議員】平成31年に、森林環境税並びに森林環境譲与税が創設されたが、使用目的を市町村が独自で決められることから林業の活性化へのつながりを期待している。村では、本譲与税交付金をこれまでどのように活用してきたのか、また今後どのように活用していくのか。

【経済建設課長】村では意向調査の実施や、森林の除伐事業、侵入竹林等の雑木除去の事業、特用林産の種駒の購入支援事業等に活用している。今後、村に合った事業や新しい取組を検討しており、森林環境譲与税を活用した林業の振興に努めたい。

【議員】森林環境譲与税交付金は法律により使途を公表する必要があり、学校教育や新たな取組によって村のＰＲができる。
　交付金の活用に当たっては、広く村民、有識者などの意見を聞くなどし、効果のある森林の整備促進に関する費用になるように提言する。

森林環境税・森林環境譲与税
設計イメージ



井　芳美
議員

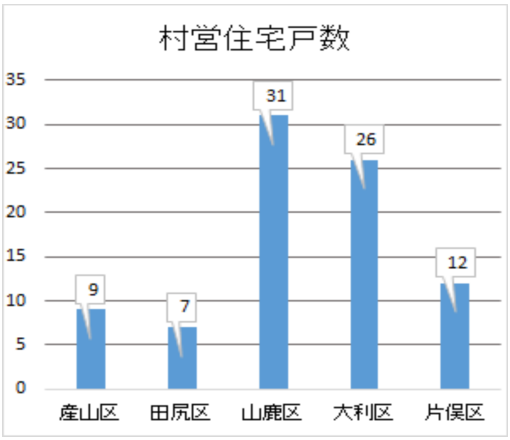
■村営住宅について

【議員】各地区にバランスのとれた村営住宅は、できないか。

【村長】後継者に限らず、必要な分については、村営住宅を設置しなければ、民営の住宅がない状況である。

各地区にどのように配分し、建築していくか、場所や条件等々を踏まえて、整備してきた。

村営住宅として地域のニーズを考慮し、バランスよくというのは難しいが、今後も建設する際は十分検討していきたい。



■花の温泉館について

【議員】水工場の誘致が白紙になった花の温泉館の今後の方向性は。

【村長】12月に地域住民や議会の意見も聞き、決断した。

今後については、国の補助事業で建設された経緯により制約があるが、公募に向けて検討していく。

■池山水源トイレについて

【議員】和式のトイレが洋式に改修されたが、いまだに男子トイレや手洗いについては改修されてない。

観光地のトイレとしては、好ましくないと思うが。

【企画振興課長】和式トイレが約24基あるため、観光地のトイレを優先して進め、手洗い等についても、老朽化が進んでいるので、今後計画的に改修していく。

池山水源手洗いの状況

■池山水源内災害工事について

【議員】水源地内の雑木除去と堰堤工事はどのようになっているのか。

【経済建設課長】池山水源の雑木除去と堰堤工事は、県で発注するが、災害復旧事業を優先的に発注しているため、今月中に発注し、完成については秋頃と聞いている。

令和元年の災害により濁流が堰堤から護岸を超え池山水源に流入し、多数の支障木が見受けられる。

■コロナ陽性に伴う待機者への助成について

【議員】コロナ陽性に伴う待機日数について、熊本市は7日間、阿蘇市は17日間と待機日数が違う。

また、熊本市は待機している間3日分の食料が宅配で送ってくる。

産山村独自の施策があってもいいのではないか。

【健康福祉課長】待機日数は、新型コロナウイルス感染症の法的位置付けに基づいて、個別に日数が示されおり、感染経路及び家庭内の家族の構成状況等によって異なる。

独自の対応であるが、陽性者の情報は、県は個人情報保護の観点から人数のみが村に報告される。

そのため、陽性者が未確定なまま、個別の食料提供などの積極的な支援は、その方々への配慮が必要であるため、慎重に対応していく必要がある。

西村直樹
議員

■ケーブルテレビの設置について

【議員】現在、学校行事や保育園行事については簡素化され、人数制限を行っている。
　村の行事についても、敬老会や村民体育祭、ヒゴタイ祭などが中止となり、寂しい状況である。
　また、少子高齢化によりイベントに参加できない方々も多数いると思われる。
　そのため、ケーブルテレビを利用して、村の行事やイベントを村民に発信してはどうか。

【村長】村では、阿蘇市と連携して個別端末を使って、放送をしている。
　今後は、デジタル化を進めるという国の方針があり、近隣町村でも取り組んでいる。
　実態を十分に把握し、将来にわたって維持ができるかどうか、検討したい。

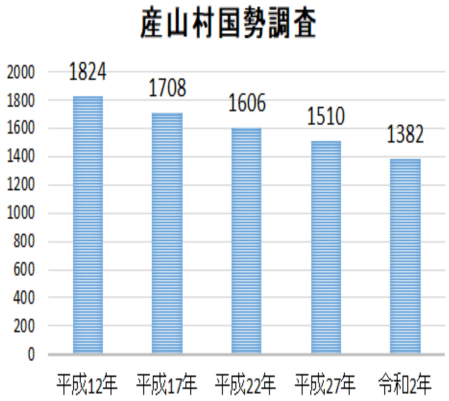
【総務課長】今現在、光電話のケーブルを引いており、別に放送基地局、そしてケーブル線を引き直さなければならない。
　設置している自治体を例にしてみると、初期費用の利用者額が約５万円から６万円で、月額の利用料金（受信料）が、人口規模にもよるが、千円から２千円程度が自己負担となる。
　別に運営費用として、放送基地の放送機材費、番組構成料、アナウンサー料などが必要となる。
　これは委託料であるが、他町村では、年額７，０００万円程度費用がかかっている。
　村としてもケーブルテレビを導入している自治体に視察研修等を行い、現状の情報収集をしケーブルテレビの必要性、役割、内容を検討していかなければならない。

現在村で利用しているお知らせ端末

渡辺裕文
議員

■人口減少対策について

【議員】２０２０年10月国勢調査が行われ、産山村の人口は１３８２名となっている。20年前の調査から5年ごとに１１６名、１０２名、96名と人口の減少幅は少なくなってきていたが、今回の調査で１２８名と減少幅が拡大している。
　国勢調査の時点から今年の３月住民基本台帳の人口は、１年４ヵ月の間に49名減少している。
　自然減社会減の中で、転出を少なくすれば社会減は少なくなる。
　ここ数年、役場では定年前に退職する人が多いように思う。
　社会減につながる退職に対して村長はどのようにお考えか。



【村長】個人の事情もあるし、将来を考え、他の仕事をしたいという強い思いもあり、本人の意向を尊重しなければならない現状もある。
　働く場所を確保することは人口増加につながるし、それぞれの課で一生懸命取り組み、魅力のある職場をつくっていき、これからも取り組んでいかなければならない大きな課題だと思っている。

【議員】総務課長としてはどうお考えか。

【総務課長】本人の意思を尊重しなければならないため、こちらから止めることはできない。
　働き方改革で、定年も65歳まで段階的に延長される。
　総務課長の立場としては定年まで残っていただきたいのが本音である。

【議員】なりたい職業ランキングで常に上位にある国家公務員・地方公務員になって、その職業の魅力、働きがい、生きがい、職場の雰囲気、人間関係とかも含めて、結局なりたいと思っていた職業から離れる。希望を持って入庁してきた人たちが辞めて転出していくのは、人口減少の面も含めて産山村にとってマイナスだと思う。

【村長】職員募集に村内の応募が少なく、村外の方が多い。
　村に住んで欲しいという村民の願いを機に、単身住宅を含めて整備し、村に住んでもらう方向で進めてきた。
　村で村民のために働きたいと意欲が出るような環境の整備、働きやすい職場環境を作っていけるように全力を尽くしていきたい。

【議員】人口減対策では、移住定住の促進が一番早い。空き家情報はどのくらい提供しているか。

【企画課長】現在、情報として2軒ホームページに掲載している。空き家関係の調査で、村内の空き家を75軒ぐらい把握している。
　すぐには住めないという物件が多い中で、その対策も考えて、今年度、空き家バンク等の情報の充実を図っていきたい。

【議員】ここ数年で人口減が急速に進んでいるように思う。
　そこに住んでいる人たちが全員楽しく力を合わせて、この村を活気ある村にしていく。
　そのためには、役場と村民が風通しのいい関係を構築し、危機的状況を乗り越え、改善してもらいたい。

令和4年第1回阿蘇広域行政事務組合定例会報告

令和4年第1回阿蘇広域行政事務組合定例会が3月25日開催され、条例２議案、予算５議案、その他１議案が審議され、全議案が可決されました。

○熊本県市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更及び規約の一部変更について
○阿蘇広域行政事務組合職員の給与に関する条例及び阿蘇広域行政事務組合パートタイム会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について
○阿蘇広域行政事務組合職員の特殊勤務手当の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について
○令和3年度阿蘇広域行政事務組合一般会計補正予算（第４号）
○令和３年度阿蘇広域行政事務組合養護老人ホーム湯の里荘特別会計補正予算（第３号）
○令和4年度阿蘇広域行政事務組合一般会計予算　33億2,046万円（前年度35億1,652万円）
　産山村負担金　8,204万円

【内　訳】

一般管理	252万円
介護保険対策費	82万円
障害支援対策費	19万円
火葬施設事務費	22万円
中部火葬施設費	207万円
環境総務費	46万円
清掃施設運営費	2,742万円
最終処分場運営費	84万円
中部清掃費	12万円
し尿処理費	749万円
消防費	3,989万円

阿蘇広域行政事務組合
大阿蘇環境センター　未来館

○令和４年度阿蘇広域行政事務組合特別養護老人ホーム阿蘇みやま荘特別会計予算
○令和４年度阿蘇広域行政事務組合養護老人ホーム湯の里荘特別会計予算

主　な　議　会　活　動

月　　日	内　　容	場　所	参加者
2月7日	第3回臨時会	産山村	議員全員
2月21日	子どもヘルパー修了式	産山村	議　　長
2月28日	第4回臨時会 第3回全員協議会 議会運営委員会 例月監査	産山村	議員全員 議員全員 議会運営委員 監査委員
3月4日	第4回全員協議会	産山村	議員全員
3月9日～17日	第５回３月定例会	産山村	議員全員
3月22日	例月監査	産山村	監査委員
3月25日	阿蘇広域行政事務組合定例会 熊本県監査委員協議会研修会 （リモート研修）	阿蘇市 産山村	広域議員 監査委員
3月30日	第6回臨時会	産山村	議員全員
4月6日	うぶやま保育園入園式	産山村	議　　長
4月11日	産山学園入学式	産山村	正副議長・ 総務文教厚生委員長
4月13日	阿蘇市町村議長会総会	阿蘇市	議　　長
4月25日	例月監査	産山村	監査委員
4月28日	中九州高規格道路期成会監査	産山村	議　　長

編集後記

テレビをつけると、毎日コロナにウクライナの悲惨な光景が目に飛び込んで来る。少し前までの暮らしには想像すら出来ない異常なことの繰り返し。

普通の暮らしを普通に暮らせない・・　普通って何だろう

昨年の同時期の編集後記には、一刻も早くワクチン接種が実施され元の社会活動に戻れることを願うばかりと記されたが同じように今年も願うばかりです。

タラの芽にわらびにウドに自然のサイクルのように少しの新しい発見と普通の年の異常ではない暮らしが繰り返されますように

広報特別委員会

委員長　岩下　徳行　　副委員長　井　　春夫

委　員　井　　芳美　　委　員　城本　俊成

発行責任者　議長　西澤　　正

編　　集　広報特別委員会

発　　行　産山村議会

熊本県阿蘇郡産山村山鹿488番地3

☎０９６７－２５－２６３５